

科博コラボ・ミュージアム in 千葉「恐竜アロサウルスとその時代の生き物たち」

関連事業

生涯学習応援講座「日本の恐竜～発掘現場からのレポート～」

1月12日（木）より千葉県立中央博物館を中心として、科博コラボ・ミュージアム in 千葉「恐竜アロサウルスとその時代の生き物たち」が始まりました。今から1億5千万年前の中生代ジュラ紀に生息していた大型肉食恐竜「アロサウルス」の実物全身化石が中央博物館ホールに登場しました！アメリカ合衆国ユタ州クリーブランドで産出した本物の化石を組み立てた、高さ3メートル、全長8メートルの全身骨格です。

1月11日（水）には地元の小学生や幼稚園の子ども達300名が見守る中、徐々に骨格が組み立てられ、鋭い歯がずらりと並んだ頭骨が取り付けられるところでは「わー、おー」と歓喜の声がホールに響き渡りました。子ども達の輝いた目が非常に印象的でした。

14日（土）には三越千葉店で、「木の葉化石を探す体験」が行われ、30名の小学生達が新発見を目指してコツコツと石をたたき、化石を取り出す体験を行いました。ほとんどが親子での参加でしたが、子ども達の「でたー、化石だー」の喜びの声と、子ども以上に興奮して石をたたいているお父さん、お母さんの姿がそこにありました。

15日（日）は、NPO 生涯学習応援団との共催である生涯学習応援講座「日本の恐竜～発掘現場からのレポート～」が行われました。当館の伊左治上席研究員の話と実際のアロサウルス骨格の前での展示解説がありましたが、ここでも様々な質問が飛び交う場面を見ることができました。

ぜひ、中央博物館に来て本物のアロサウルスを見てください。本物の持つ質感と迫力があなたにせまることでしょう。

さあ、アロサウルスとともに太古の昔にタイムスリップしてみませんか。

